

# 2021年9月期 第2四半期 決算説明資料

2021年5月

フィンテック グローバル株式会社

(東証第二部 : 8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

# 目次

総括	2
連結業績概況	3
四半期連結業績推移	4
セグメント別業績	5
投資銀行事業セグメント－業務別売上高、売上総利益	7
エンタテインメント・サービス事業－業績等	8
投融資残高の推移（FGI,FGT合計）	10
受託資産残高の推移	11
連結貸借対照表、連結損益計算書、連結CF計算書	12
連結経営指標等の推移	15
会社概要	16

## **投資銀行事業の好調により、増収。** **営業利益、経常利益、四半期純利益がそれぞれ黒字化**

- ・プライベートエクイティ投資が業績牽引。航空機アセットマネジメントも伸びる。

## **メッツァは、緊急事態宣言により来園者数が大きく減少し、減収** **ライセンス関連は業績伸長するも、** **エンタテインメント・サービス事業はセグメント損失**

- ・メッツァは1Qにイベントなどで集客し来園者数は回復傾向にあったが、1月の緊急事態宣言により大きく減少。コスト削減による収支均衡策を継続。
- ・ライセンス関連はブランディングにより市場拡大。四半期ベースで過去最大の売上高となる。

## **各段階利益は、通期業績予想を超過する高い進捗率であるが、** **今後もメッツァが苦戦を強いられる可能性も鑑み、連結業績予想は据え置き**

- ・投資銀行事業は、プライベートエクイティ投資案件において、今後も組成に向け、取り組みが進む。その他の企業投資、アセット投資の回収も、見込む。
- ・2021年4月から、一部地域が再び緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象となるなど、コロナ禍による今後のメッツァへの影響は、不透明。メッツァがある埼玉県飯能市は、現時点において緊急事態宣言等の対象外であるものの、今後も苦戦を強いられることも想定されることから、連結業績予想は据え置く。

# 連結業績概況

(単位：百万円)

	2020年9月期 第2四半期累計	2021年9月期 第2四半期累計	増減額	増減率	通期業績予想 2020/11発表	業績予想 進捗率
売上高	4,269	4,874	+604	14.2%	9,000	54.2%
売上総利益	1,301	2,384	+1,083	83.2%	—	—
営業利益	△495	840	+1,335	—	540	155.7%
経常利益	△560	831	+1,391	—	370	224.6%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	△581	618	+1,199	—	250	247.3%
償却前営業利益	△29	1,186	+1,216	—	—	—

・償却前営業利益 = 営業利益 + 原価・販管費に含まれる減価償却費及びのれん償却費

## 売上高

**メツツアが減収となるも、投資銀行事業は好調に推移して増収。**

- 投資銀行事業は、プライベートエクイティ投資（業務受託、投資回収）、航空機アセットマネジメントが好調に推移し、増収（外部売上高1,269百万円増）
- メツツア来園者数は、前2Q累計比で24.9%減となり、エンタテインメント・サービス事業は減収（外部売上高656百万円減）

## 売上総利益

**原価率の低い投資銀行事業の業務受託等の売上が伸長したことにより、売上総利益は大幅に増加。**

## 営業利益

**売上総利益の増加と販管費の減少により、黒字転換。**

- 販管費は252百万円減（14.1%減）の1,543百万円。
- メツツアは、コスト削減した運営体制を維持。

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 四半期連結業績推移

(単位：百万円)

	2020/9期						2021/9期			直前四半期 (1Q) 比 増減額 (増減率)	前2Q累計比 増減額 (増減率)
	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	4Q累計	1Q	2Q	2Q累計		
売上高	2,209	2,060	4,269	926	1,644	6,841	2,020	2,854	4,874	+834 (+41.3%)	+604 (+14.2%)
売上総利益	696	604	1,301	368	643	2,313	825	1,558	2,384	+732 (+88.7%)	+1,083 (+83.2%)
営業利益	△258	△236	△495	△398	△99	△992	53	787	840	+734 (+1,382.8%)	+1,335 (-)
経常利益	△297	△263	△560	△428	△146	△1,135	9	821	831	+812 (+8,816.4%)	+1,391 (-)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△284	△296	△581	△464	△140	△1,186	△63	681	618	+744 (-)	+1,199 (-)
償却前営業利益	△5	△23	△29	△307	73	△264	224	962	1,186	+737 (+328.7%)	+1,216 (-)

・償却前営業利益は、営業利益に売上原価、販売費及び一般管理費に含まれる減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出。

# セグメント別業績 - 1

- ・投資銀行事業の売上高・売上総利益の増加が、連結業績を牽引。
- ・エンタテインメント・サービス事業は、1Qはメッツアの回復、ライセンス関連の伸長により、黒字化するも、2Qは緊急事態宣言によるメッツア来園者数減少により、セグメント損失を計上。

(単位：百万円)

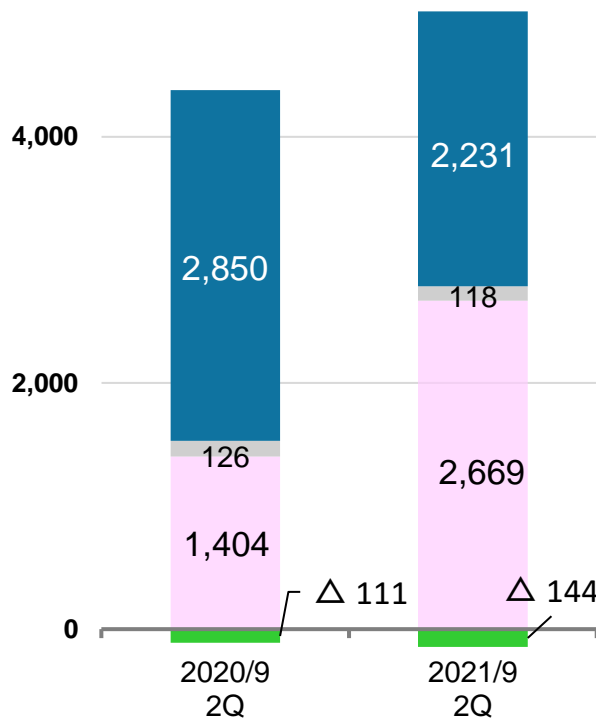
報告セグメント	科目	2020/9期						2021/9期			直前 四半期 (1Q) 比	前2Q 累計比
		1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	4Q累計	1Q	2Q	2Q累計		
投資銀行事業	売上高	555	849	1,404	497	623	2,525	812	1,856	✓ 2,669	+1,044	✓ +1,265
	売上総利益	316	403	719	325	437	1,482	499	1,492	✓ 1,991	+992	✓ +1,272
	セグメント利益	△71	36	△35	26	118	109	142	1,180	✓ 1,322	+1,037	✓ +1,357
公共コンサルティング 事業	売上高	64	62	126	43	83	253	62	56	118	△5	△8
	売上総利益	33	34	68	25	57	151	38	31	70	△6	+1
	セグメント利益	△7	△5	△13	△12	10	△15	△2	0	△3	+2	+9
エンタテインメント・ サービス事業	売上高	1,647	1,202	2,850	448	1,006	4,304	✓ 1,223	✓ 1,007	✓ 2,231	✓ △215	△618
	売上総利益	376	190	567	50	180	797	327	64	391	△262	△175
	セグメント利益	△18	△142	△160	△253	△101	△515	✓ 47	✓ △203	✓ △155	✓ △251	+5
調整額 (セグメント間取引消 去又は全社費用)	売上高	△57	△54	△111	△62	△68	△242	△78	△66	△144	+11	△33
	売上総利益	△29	△24	△53	△32	△32	△118	△39	△30	△69	+8	△15
	セグメント利益	△161	△124	△286	△158	△126	△571	△134	△188	△323	△54	△37
連結 P L 計上額	売上高	2,209	2,060	4,269	926	1,644	6,841	2,020	2,854	4,874	+834	+604
	売上総利益	696	604	1,301	368	643	2,313	825	1,558	2,384	+732	+1,083
	セグメント利益	△258	△236	△495	△398	△99	△992	53	787	840	+734	+1,335
関連事項												
			ムーミンバ レーパーク 16日間 臨時休園		ムーミンバ レーパーク 80日間、 メッツア ビレッジ 44日間 臨時休園					緊急事態 宣言 (1都3県は 1/8-3/21)		

- ・各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高です。
- ・調整額(セグメント利益)(2021年9月期2Q累計は△323百万円)には、セグメント間取引消去(2021年9月期2Q累計は110百万円)及び報告セグメントに配分していない全社費用(2021年9月期2Q累計は△433百万円)を含む。全社費用は合理的な配分が難しいなどの理由により報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

# セグメント別業績 - 2

## 売上高

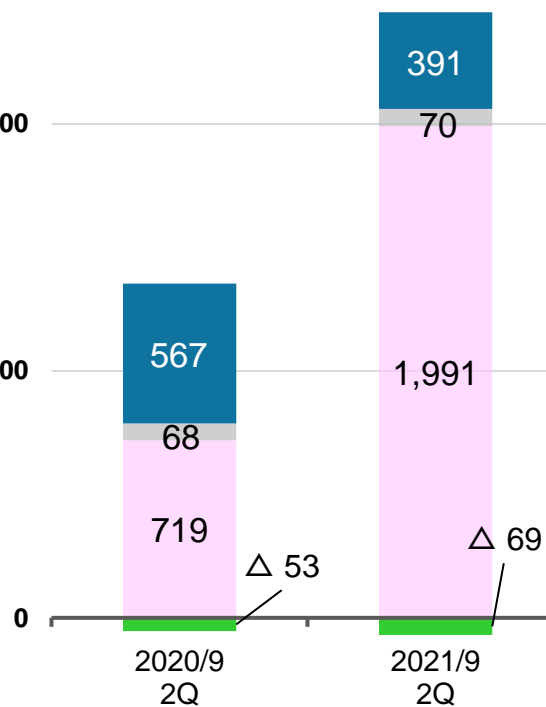
(百万円)  
6,000



**4,269**  
**604百万円増 (14.2%増)**

## 売上総利益

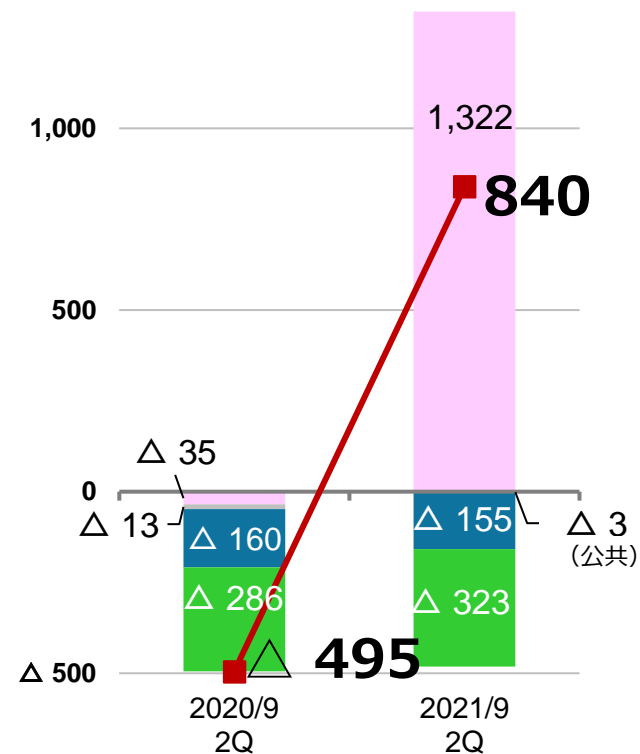
(百万円)  
3,000



**1,301**  
**1,083百万円増 (83.2%増)**

## 営業利益

(百万円)  
1,500



**1,335百万円改善**

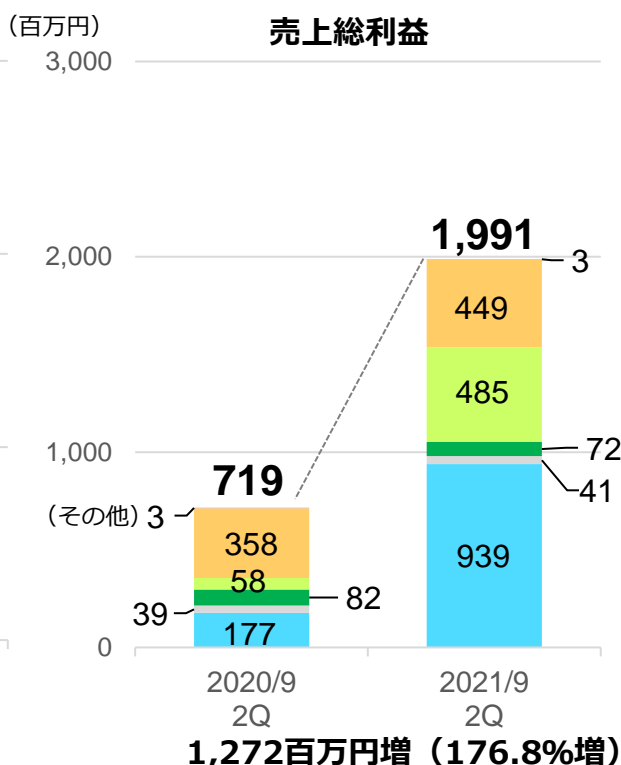
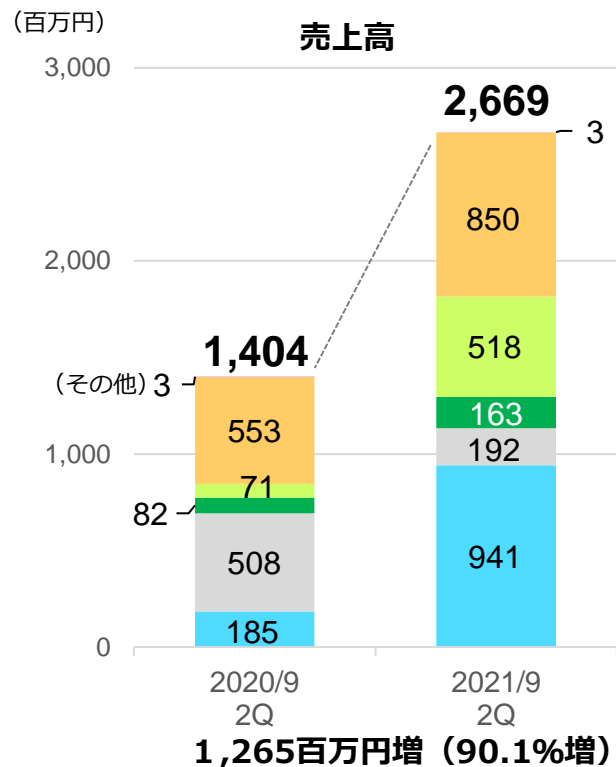
(注) セグメント別内訳は、他のセグメントとの取引を消去しない数値を使用。



# 投資銀行事業セグメントー業務別売上高、売上総利益

## プライベートエクイティ投資（業務受託、企業投資）と、航空機AMが好調。

- ・ **業務受託** 複数の事業承継に関連するプライベートエクイティ投資案件の業務受託により、増収。
- ・ **アセット投資** 前2Qに不動産開発案件でエグジットがあった反動で減収。不動産信託受益権販売が進む。
- ・ **メツァビレッジ** 前2Qまでムーミン物語にマスターリースし、売上原価はなし。  
当2Qは当社が各テナントへ直接賃貸。運営コストを売上原価に計上。売上総利益は大きな変動なし。
- ・ **企業投資** プライベートエクイティ投資の回収により、増収。
- ・ **航空機アセットマネジメント** コロナ禍の影響で、金融機関や所有者（レッサー）から、機体検査や機体返還などの技術サービス提供依頼が増加したことにより、売上高、売上総利益とも増加。



- その他
- 航空機アセットマネジメント
- 企業投資
- アセット投資
- メツァビレッジ
- 業務受託 (アレンジ、アセットマネジメント、不動産仲介等)

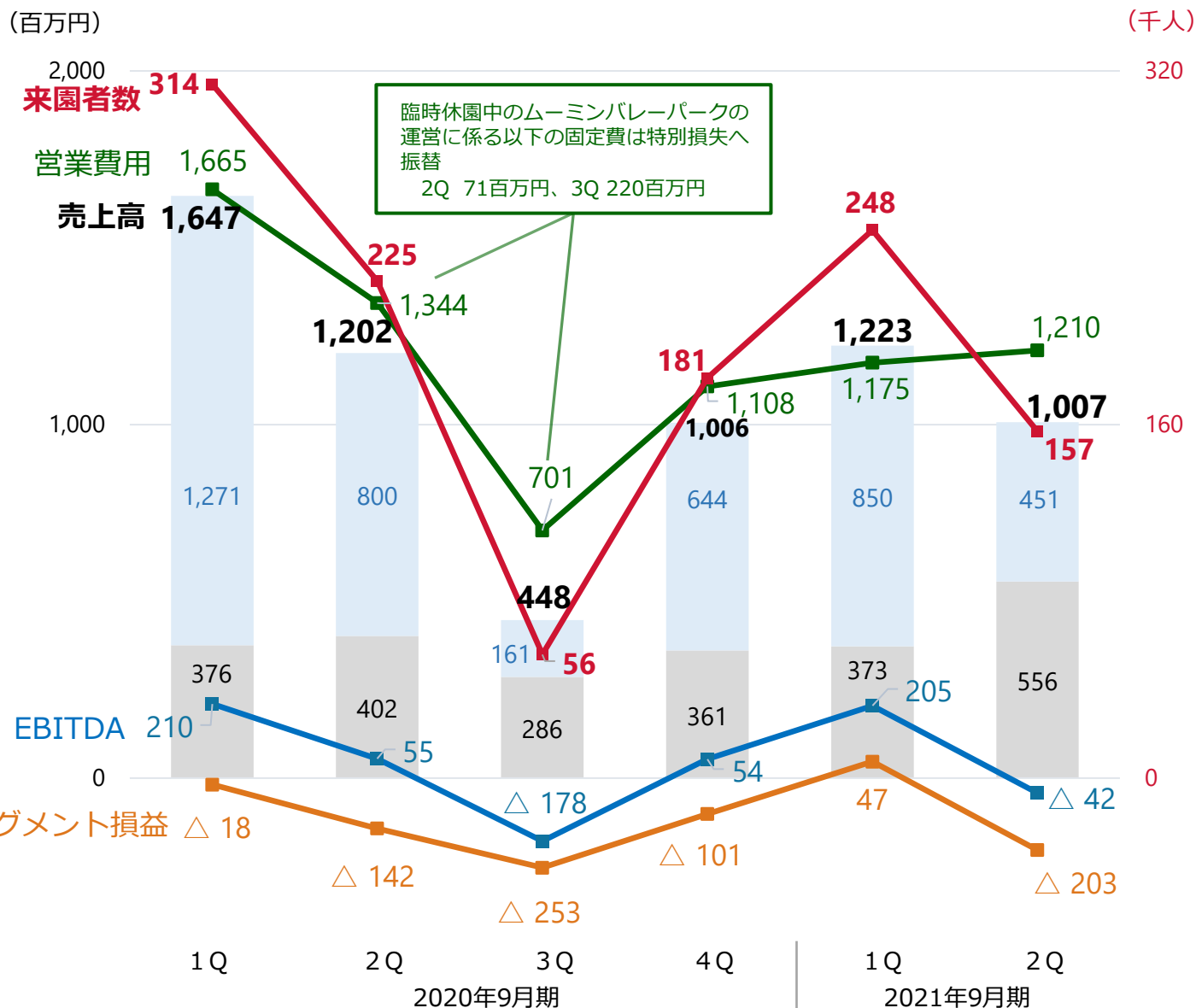
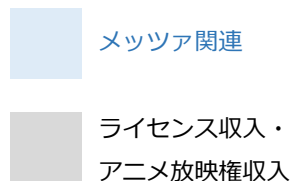
(注) セグメント間の内部売上高は、消去しない数値を使用。





# エンタテインメント・サービス事業—業績等（四半期）

## 売上高



- (注)1 来園者数は、メッツァビレッジ・ムーミンバレーパークの合計。
- 2 売上高は他の報告セグメントとの取引を消去しない数値を使用。
- 3 EBITDAは、セグメント利益に売上原価、販売費及び一般管理費に含まれる減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算出。

# 投融資残高の推移 (FGI,FGT合計)

2021年9月期2Q (2021/1~2021/3) の主な変動要因

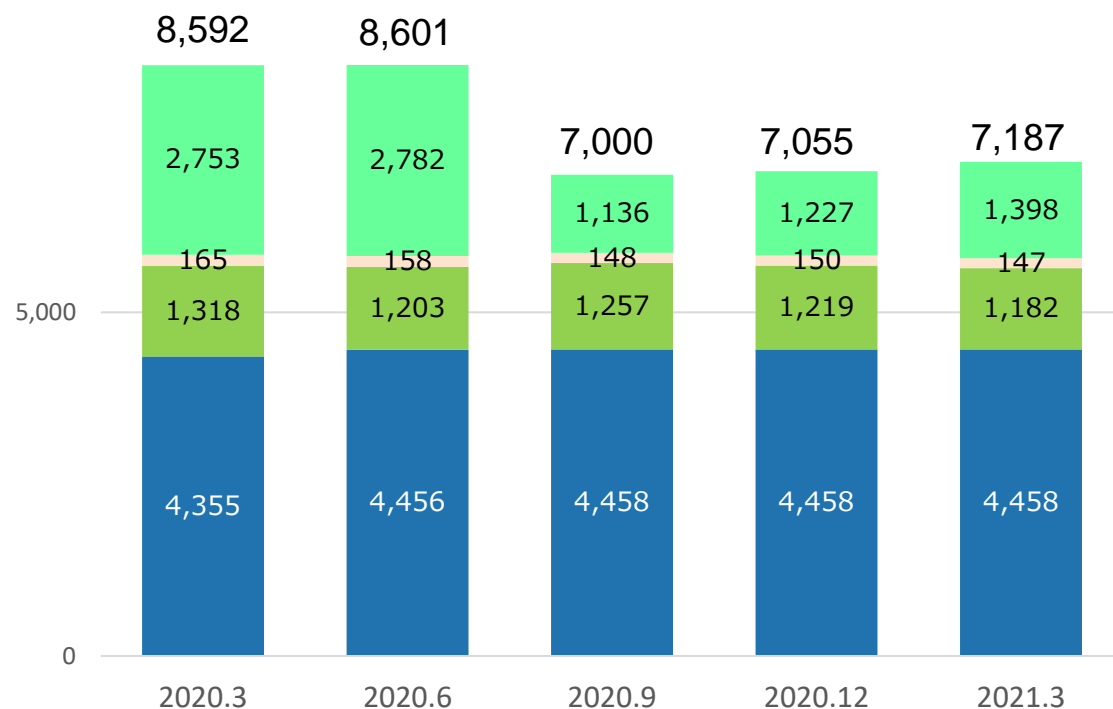
## ■ プリンシパルインベストメント

- ・プライベートエクイティ投資案件により増加。

## 当社(FGI)、フィンテックグローバルトレーディング (FGT) の投融資合計額 (子会社への出資を含む)

(百万円)

10,000



(注) FGI、FGT間の出資・貸付は、含めず。

**■ プリンシパルインベストメント**  
ベンチャーキャピタルファンドへの投資を除く営業投資有価証券、投資有価証券、関係会社株式、関係会社出資金の合計額。

**■ ベンチャーキャピタルファンド**  
FinTech GIMV Fund (FGF)、他2ファンドへの投資

**■ 企業融資**  
営業貸付金、子会社への短期貸付金の合計額。全額引当している債権は含めないが、子会社貸付は全額計上。

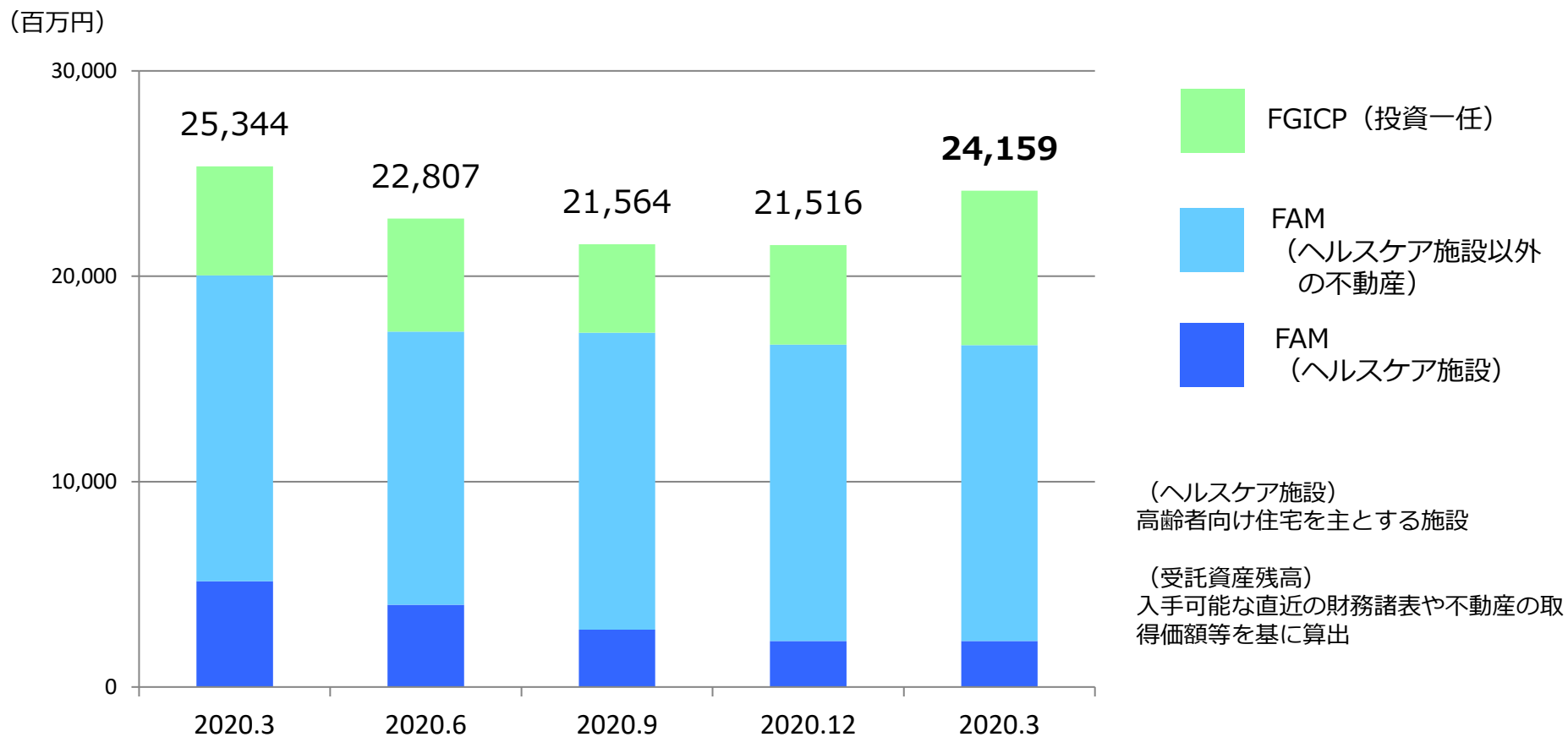
**■ 不動産等(メツア)**  
メツアにおける不動産。  
メツアビレッジの不動産は仕掛販売用不動産・販売用不動産に計上。ムーミンバレーパークの土地は、法的には地域SPCに譲渡しているが会計上は当社固定資産に計上しているため、当該金額に含めている。

# 受託資産残高の推移

フィンテックアセットマネジメント (FAM)  
FGIキャピタル・パートナーズ (FGICP)

2021年9月期2Q (2021/1~2021/3) の主な変動要因

- ・ FGICPにおいて、再生可能エネルギーを対象とした信託受益権への投資一任契約により増加



# 連結貸借対照表

## 資産の部

	20年9月期	21年9月期 第2四半期	増減
流動資産	8,803,255	9,974,699	1,171,443
現金及び預金	2,162,069	2,598,908	436,839
1 受取手形・売掛金	564,724	1,234,217	669,493
2 営業投資有価証券	1,128,045	1,228,973	100,927
営業貸付金	514,798	471,584	△ 43,214
販売用不動産	3,999,865	3,999,865	—
商品	257,591	210,423	△ 47,167
その他	272,878	332,821	59,943
貸倒引当金	△ 96,718	△ 102,095	△ 5,377
固定資産	7,780,293	7,455,408	△ 324,884
3 有形固定資産	6,705,906	6,455,446	△ 250,460
無形固定資産	600,756	599,053	△ 1,703
投資その他の資産	473,630	400,909	△ 72,721
資産合計	16,583,548	17,430,107	846,558

1 事業承継案件に係るアドバイザー業務・仲介、ライセンス事業、公会計事業などに係る売掛金が増加。

2 複数のプライベートエクイティ投資を行うファンドに出資。子会社SPCの不動産信託受益権売却は漸次進捗。

3 ムーミンバレーパークの建物、内外装等の減価償却により減少。

## 負債の部

(単位：千円)

	20年9月期	21年9月期 第2四半期	増減
流動負債	2,333,428	2,837,234	503,805
支払手形・買掛金	109,597	185,123	75,526
短期借入金	69,701	26,800	△ 42,901
1年内返済予定の長期借入金	615,111	576,945	△ 38,166
未払法人税等	97,250	229,136	131,886
リース債務	222,578	226,445	3,866
賞与引当金	130,666	122,344	△ 8,322
その他	1,088,523	1,470,439	381,915
固定負債	6,945,738	6,792,687	△ 153,050
長期借入金	6,125,744	6,103,176	△ 22,568
リース債務	581,872	467,673	△ 114,198
繰延税金負債	96,324	77,417	△ 18,907
退職給付に係る負債	108,259	110,883	2,623
その他	33,536	33,536	—
負債合計	9,279,166	9,629,922	350,755

## 純資産の部

株主資本	6,294,416	6,824,069	529,652
資本金	6,462,062	6,462,099	36
資本剰余金	5,016,132	4,994,549	△ 21,582
利益剰余金	△ 5,183,778	△ 4,632,579	551,198
その他の包括利益累計額	△ 36,213	△ 14,028	22,185
新株予約権	64,045	60,904	△ 3,141
非支配株主持分	982,133	929,239	△ 52,893
純資産合計	7,304,381	7,800,185	495,803
負債純資産合計	16,583,548	17,430,107	846,558

# 連結損益計算書

	2020年9月期 第2四半期累計		2021年9月期 第2四半期累計		(単位：千円) 増減額 増減率			
		売上比		売上比				
売上高	1	4,269,822	100.0%	4,874,665	100.0%	604,842	14.2%	
売上原価		2,968,595	69.5%	2,490,402	51.1%	△ 478,192	△ 16.1%	
売上総利益	2	1,301,227	30.5%	2,384,262	48.9%	1,083,035	83.2%	
販売費及び一般管理費	3	1,796,335	42.1%	1,543,450	31.7%	△ 252,885	△ 14.1%	
営業利益又は営業損失 (△)		△ 495,107	△ 11.6%	840,812	17.2%	1,335,920	—	
営業外収益		7,508	0.2%	4	65,780	1.3%	58,272	776.0%
営業外費用		72,772	1.7%	75,426	1.5%	2,654	3.6%	
経常利益又は経常損失 (△)		△ 560,371	△ 13.1%	831,166	17.1%	1,391,537	—	
特別利益		5,672	0.1%	3,123	0.1%	△ 2,548	△ 44.9%	
特別損失		74,827	1.8%	1,122	0.0%	△ 73,705	△ 98.5%	
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)		△ 629,526	△ 14.7%	833,168	17.1%	1,462,694	—	
法人税等合計		25,875	0.6%	213,183	4.4%	187,307	723.9%	
四半期純利益又は四半期純損失 (△)		△ 655,401	△ 15.3%	619,984	12.7%	1,275,386	—	
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)		△ 73,870	△ 1.7%	1,690	0.0%	75,560	—	
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)		△ 581,531	△ 13.6%	618,293	12.7%	1,199,825	—	

1 メッツアの来園者数が前年同期比で24.9%減となったものの、プライベートエクイティ投資において複数の案件が投資回収に至り、航空機アセットマネジメントも好調に推移して増収。

2 原価率が低い投資銀行事業の業務受託等による売上高が伸長したことにより、売上総利益は大幅に増加。

3 2020年9月期に漸次、各種コストの削減を進めたことにより、販管費は前年同期比14.1%減少。メッツアは、コスト削減した運営体制を維持。

4 埼玉県飯能市より、メッツアに係る企業立地奨励金等52百万円の交付を受ける。

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	20年9月期 第2四半期	21年9月期 第2四半期	増減額
<b>営業CF</b>	<b>766,285</b>	<b>774,494</b>	<b>8,208</b>
税引前四半期純利益	△ 629,526	833,168	1,462,694
減価償却費	466,363	336,385	△ 129,977
支払利息	68,823	58,369	△ 10,453
売上債権の増減	△ 6,700	△ 656,949	△ 650,248
営業投資有価証券の増減	115,643	△ 92,180	△ 207,824
たな卸資産の増減	195,618	46,969	△ 148,649
仕入債務の増減	△ 5,273	73,274	78,547
その他	561,336	175,458	△ 385,878
<b>投資CF</b>	<b>△ 206,999</b>	<b>△ 52,068</b>	<b>154,930</b>
固定資産支出	△ 212,469	△ 49,302	163,167
その他	5,470	△ 2,766	△ 8,236

	20年9月期 第2四半期	21年9月期 第2四半期	増減額
<b>財務CF</b>	<b>△ 841,664</b>	<b>△ 299,262</b>	<b>542,401</b>
短期借入金の増減	△ 440,504	△ 43,157	397,346
長期借入れによる収入	364,000	100,000	△ 264,000
長期借入金の返済	△ 633,684	△ 160,734	472,950
ファイナンス・リース 債務の返済	△ 106,880	△ 110,332	△ 3,451
その他	△ 24,595	△ 85,039	△ 60,443
現金等の換算差額	626	13,676	13,050
現金等の増減額	△ 281,751	436,839	718,590
現金等の期首残高	2,513,187	2,142,069	△ 371,118
現金等の期末残高	2,231,436	2,578,908	347,472

# 連結経営指標等の推移

		2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年9月期 第2四半期
売上高	(百万円)	7,485	7,182	3,689	9,175	6,841	4,874
売上総利益	(百万円)	1,496	1,626	2,261	2,944	2,313	2,384
営業利益又は営業損失(△)	(百万円)	△ 1,031	△ 1,319	△ 1,072	△ 1,664	△ 992	840
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	△ 1,369	△ 1,341	△ 1,227	△ 1,850	△ 1,135	831
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(百万円)	△ 1,384	△ 1,358	△ 820	△ 1,586	△ 1,186	618
純資産	(百万円)	6,312	5,326	8,551	8,873	7,304	7,800
総資産	(百万円)	10,975	12,932	14,016	19,025	16,583	17,430
1株当たり純資産	(円)	38.66	29.64	39.31	37.03	31.12	33.86
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	(円)	△ 8.56	△ 8.39	△ 4.79	△ 8.08	△ 5.90	3.07
潜在株式調整後 1株当たり当期(四半期)純利益	(円)	-	-	-	-	-	3.07
自己資本比率	(%)	57.0	37.1	52.2	39.1	37.7	39.1
自己資本利益率	(%)	△ 19.7	△ 24.6	△ 13.5	△ 21.5	△ 17.3	-
株価収益率	(倍)	-	-	-	-	-	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 1,305	△ 1,153	△ 2,978	△ 2,604	680	774
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 302	△ 1,026	△ 2,008	△ 4,543	△ 282	△ 52
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 751	2,937	5,771	5,710	△ 767	△ 299
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	2,240	2,969	3,847	2,513	2,142	2,578
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	114(20)	143(27)	156(47)	167(262)	156(224)	145(202)
従業員数(単体) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	45(8)	40(6)	38(5)	39(5)	28(6)	27(4)



# フィンテック グローバル株式会社 会社概要

本店所在地	東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア15階		
設立	1994年12月7日		
代表	代表取締役社長 玉井 信光		
上場日	2005年6月8日		
証券コード	8789 (東京証券取引所市場第二部)		
事業年度	10月1日から9月30日まで		
事業内容	①投資銀行事業 ②公共コンサルティング事業 ③エンタテインメント・サービス事業		
発行済株式総数	201,115,600株 (2021年3月31日現在)		
単元株式数	100株		
資本金	6,462百万円 (2021年3月31日現在)		
連結純資産	7,800百万円 (2021年3月31日現在)		
大株主 (2021年3月31日現在)	玉井 信光 (株)CAT-MY	10,095,500 10,000,000	(5.02%) (4.97%)
連結従業員数	145名 (2021年3月31日現在、臨時従業員含まず)		

フィンテック / FinTech (登録5113746)・FinTech Global (登録5811521)・フィンテックグローバル (登録5811522)・FGI (登録5113748)は、フィンテック グローバル株式会社の登録商標であります。

## 免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2021年9月期第2四半期決算に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実（以下、「将来情報」ということがあります）の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付（または当該資料・文書に別途明示された日付）時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。